

2014年3月15日

川本 整氏叙勲のご報告と祝辞

地球物理学教室同窓会 前会長

田中寅夫

川本 整氏は、多年にわたる教育・研究の功勞に対して、平成25年秋の叙勲において「瑞宝中綬賞」を受章なさいました。地球物理学教室同窓生の一人として、本日「平成26年知球会」総会におきまして同級生を代表？？して川本さんにお祝いの言葉を申しあげられますことを心より喜んでおります。

川本さんは、地球物理学教室を、大先輩の「佐々憲三先生」の研究室で卒業研究をされて、請われて直ぐに大阪工業大学に職を得られました。その3年後には佐々先生が学長として大阪工大に着任されまして、佐々学長から、「地震の研究は一人では無理だから、地すべりの研究をやって見ろ」と、亀の瀬地すべりの調査データのまとめに取り組みされたのが、研究に喜びを覚えたはじめであるとお聞きしています。

佐々先生が地すべり学会を創設され、学界の運営委員、関西支部の代表などの要職に就かれ学会活動に大きく貢献されてきました。「地すべり地における地表面ひずみの日変化」が川本さんの博士の学位論文ですが、その当時には防災研究所にポストがあったそうですが、工大に骨を埋めると活躍されて、大きな信頼を受けられ、学務部長、学生補佐、図書館長、・・・と役職を勤め上げられました。

専門の地すべり調査研究では、とくに徳島県、新潟県、高知県などの地すべりとその対策に大きく貢献されてきました。

以後わたしは、今日までの長い間、親しくお付き合いさせて頂き、それどころか、9年間にわたり、100宿100飯の恩義に与り、今日まで生きながらえて来ることができました。平成1年から平成9年まで地学（b）；土曜日2.3限、前期4、（一般教育科）、地球科学a，Ⅱ部 1限、2限、前期、17:30～20:05 というこゝで、土曜日とか夜に、非常勤講師として長らく勤めさせて頂きました。ただし、その講義の後で、川本さんと一杯引っかけた、という記憶は（確か？）一度もなかったと思います。（川本さんは大変ご多忙でした）

まだまだ、ご紹介したいことは山ほどあるのですが、時間の制約も御座いますので、まずはこれにて、簡単では御座いますが、「叙勲」お祝いのことばとさせて頂きます。有難う御座いました。

編集担当者追記： 川本 整氏と田中寅夫氏はともに昭和33年学部卒でいらっしゃる。川本氏は第4講座、田中氏は第1講座のご出身である。